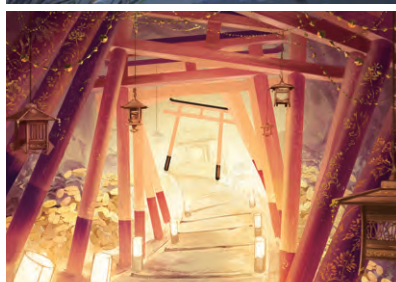
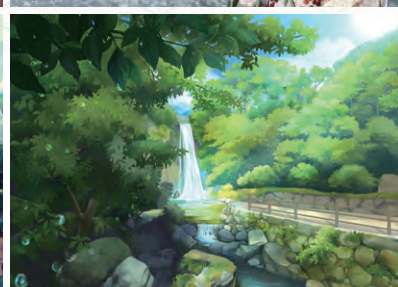
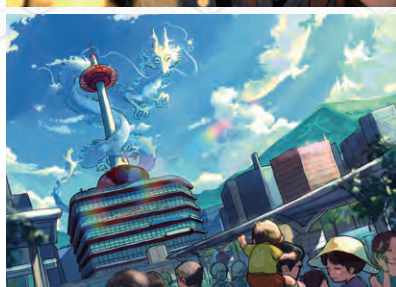
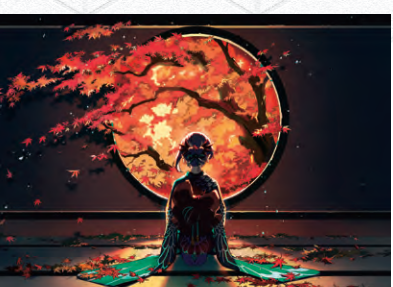


京都信用金庫

この1年のあゆみ

第103期事業のご報告

2024年4月1日～2025年3月31日



目次

ご挨拶、経営方針、役員のご紹介	1
-この1年のわたしたちの取組-	
お客様に寄り添い、暮らしのお悩みを解決します!	2
デジタルの力で新しいライフスタイルを提案します!	3
中小企業の味方として、ビジネスをサポートします!	4-5
金融の枠を超えて、地域の活力を創出します!	6
ソーシャル・グッドな地域社会を実現します!	7-8
業績のご報告・財務諸表	9-10
この1年のできごと	11

【表紙イラスト】 卓上カレンダー用に京都精華大学より提供いただいた作品です。

 コミュニティ・バンク京信

「コミュニティ・バンク京信」は、京都信用金庫のブランドネームです。

ご挨拶

会員の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はコミュニティ・バンク京信に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第103期(2024年度)の業績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。是非ともご高覧賜り、当金庫へのご理解を深めていただければ幸いです。

長年にわたって実施されたマイナス金利政策が解除され、「金利のある世界」への移行が進む中で、人々の暮らし方や価値観は多様化し、働き方や企業経営の在り方も大きく変化しています。地域に必要とされる地域金融機関であるためにも、それらの変化に柔軟に対応し、人手不足や少子高齢化といった構造的な社会課題に向き合いつつ、お客様や地域の利便性と付加価値の向上を目指し、“デジタル”と“ヒューマン”を融合した温かい金融を実践していく所存です。

当金庫では、バンキングアプリ「てのひら京信」やオンライン相談サービスを通じて、“いつでも”“どこでも”つながる利便性の高い多様なサービスの提供を開始しました。また、全店舗の半数にあたる48店舗を「課題解決型店舗」として、お客様のくらしや事業、地域社会の様々な問いや課題に向き合う体制を強化するとともに、当金庫とグループ会社が連携したコミュニティ・バンク京信グループの課題解決機能を最大限発揮し、金融支援にとどまらない質の高い顧客サービスを展開してまいります。

あらゆる面で地域の皆様のお役に立ち、地域社会の発展とソーシャル・グッドな地域コミュニティの実現に向けて、コミュニティ・バンクの理念のもと、何でも気軽にご相談いただける関係性を大切に、お客様に親身に寄り添う「おせっかいバンカー」でありたいと思います。今後とも、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2025年6月27日
京都信用金庫

理事長 榊田 隆之

経営方針

当金庫は1971年にコミュニティ・バンクを基本理念として掲げて以来、「金融サービスを通じて新たな社会的紐帯や人々の絆を育むこと」が社会的使命と考えています。

時代の変化とともにくらしの悩み、事業や地域の課題が複雑化する中で、地域金融機関には決済機能や仲介機能に加えて、「課題解決機能」が必要とされています。そのため、役職員全員が変化に柔軟に対応する金融のプロとして、お客様のくらしや事業に親身に寄り添い「おせっかいを焼く」、そして、人と人、事業と事業をつなぐネットワーク集合知となり、「寄ってたかって課題解決に取り組む」という新たな価値創造に向けて実践しているところです。

このような経営姿勢のもと、「地域の利益(公益)」を目指して、これまでの歩みを進化させるべく「コミュニティ・バンク京信」をブランドネームに掲げ、職員は人にしかできない付加価値の高い業務に専念し、ゆたかでソーシャルな地域社会の実現に向けて邁進していきます。

それとともに、手間ひまをかけて対話型経営に取り組み、くらし方に合わせた働き方ができ、心身ともに健康でイキイキと働ける職場環境を整え、「日本一コミュニケーションがゆたかな会社」を目指していきます。

役員のご紹介



理事長(代表理事)——榊田 隆之
専務理事(代表理事)——丹波 寛志
常務理事——井崎 重光
常務理事——竹口 尚樹
常務理事——真下 隆三
理事——森口 雅和
理事——中村 宗和
理事——廣瀬 朱実
理事——四方 喜伸
理事——加藤まなみ
理事——伴 龍太
理事——森 正
理事——小倉 美和
理事——富田 知宏
理事——水谷 善彦
理事——三輪 文彦
理事——満川 秀治
理事(非常勤)——坂本 忠弘
監事——春本 智也
監事——白池 浩史
監事(非常勤)——中川 朋子

※理事の坂本忠弘は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※監事の中川朋子は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

2025年4月1日現在

わたしたちは

お客様に寄り添い、暮らしのお悩みを解決します！



リビングテーブルが相談カウンターに

予約通話：平日9時～21時 土曜日9時～17時 / ダイレクト通話：平日9時～17時

2024年にスタートしたオンライン相談サービス「リモートLPA（ライフプランアドバイザー）」は、平日のご来店が難しいお客様をはじめ、多くのお客様にご利用いただき、喜びの声をいただいています。

金融機関との様々な取引がスマートフォンで完結できる時代だからこそ、私たちはコミュニティ・バンクらしい「顔の見える」安心感とあたたかさをお届けします。

ご利用者の声



30代男性 住宅ローンのご相談

とても相談しやすい雰囲気でした。今後も気軽に使っていきたいです！



40代女性 投資信託のご相談

電話では伝えづらいことも、顔を見ながら手軽に相談できてよかったです。



50代男性 ライフプランのご相談

説明が丁寧でわかりやすかったです！休みの日にゆっくり話せるのがとても良いですね。



2024年度の新商品・サービス — 皆様の暮らしをゆたかにするために —

● 年金定期預金「ふれあい」

金利の上昇により、資産形成の一つのかたちとしての「預金」の役割が見直されています。当金庫では年金定期預金「ふれあい500」をリニューアルし、預入上限金額を2,000万円に。皆様のセカンドライフを力強く応援します。



● アプリ専用定期預金「ソーシャル・グッド預金でのひら」

皆様の「地域・社会や環境を少しでも良くしたい」という想いを預金に乗せてお預かりし、地域で活動する「ソーシャル企業」に託す預金です。金融機関にお金を預けるという身近な行動を通じて、社会への貢献を実感いただくことができます。



※2025年4月13日をもって新規取扱を終了しました。

● 京信 能登半島復興応援定期積金

能登半島地域には、いまだ日常を取り戻すことができない方が多くいらっしゃいます。そこで当金庫では、募集総額の0.25%が能登半島地域への寄附金となる定期積金の取扱を開始、2025年3月に全国の取扱信用金庫とともに、合計6億3,800万円(※)を寄附しました。



※信金中央金庫からの直接寄附6,000万円を含みます。

● ペット保険

大切な家族である動物との暮らしをお守りするため、ペット保険の取扱を開始しました。スマートフォンからお申し込ただけなので、窓口へお越しになることが難しい方でも便利にご加入いただけます。



わたしたちは

デジタルの力で新しいライフスタイルを提案します!



ますます便利になった「てのひら京信」

2024年1月にスタートした京都信用金庫アプリ「てのひら京信」は、2024年度末までに7万8千ダウンロードを突破しました!

より身近で便利なアプリとなるよう、皆様からのご要望をもとに日々アップデートを重ねています。

「もっと便利になりました」

2024年度の主なアップデート



投資信託・NISA
Web申込



住宅ローン
繰上返済申込



定期預金の
作成・管理

京信で「ポイ活」はじめませんか

2025年3月に、当金庫とのお取引やキャンペーン等でポイントを貯めて、デジタルギフトに交換できるアプリ「京信ポイントBANK」がスタートしました。

「てのひら京信」とあわせてご利用いただくことで、当金庫とのお取引がより便利に、より楽しく、よりおトクになります。



ためる

当金庫とのお取引、キャンペーンへの参加やアンケートへの回答、アプリ上のくじ引き等でポイントが貯まります。



ふやす

ポイント運用でポイント数の変化を楽しむことができます。4つの運用コースのうち、「地域応援コース」では地元企業の株価に連動した運用ができ、運用中のポイントを株式に交換することもできます。



つかう

貯めたポイントは、デジタルギフトに交換できます。飲食店やコンビニエンスストア等でおトクに利用できます!



他にも便利なサービスをリリースしました!

●京信電子交付サービス 2024年8月

これまで郵送でしかお受け取りいただけなかった返済予定表等の書類を、スマートフォンやパソコンからご確認いただけるようになりました。



●Webサイトリニューアル 2024年11月

当金庫の公式Webサイトを全面リニューアル!京信や地域の最新情報をお届けする「KYOSHIN PLUS」がスタートしたほか、ライフプランガイド等のお役立ち情報も充実しました。



店舗・ATM検索画面もわかりやすくなりました!!

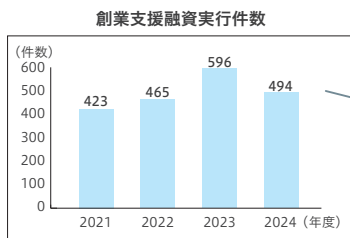


私たちは、経営者の皆様にとって誰よりも近い存在でありたいと考えています。その想いを体現する取組として、融資による資金面のサポートだけでなく、事業の課題解決や成長をサポートする取組、社員の皆様が「この企業で働いてよかった」と思える職場づくりをお手伝いする取組等、「本業支援」に注力しています。

挑戦する起業家を応援

活力ある地域づくりには、地域に魅力的な企業やお店が生まれ、そして成長していくことが必要です。

私たちは地域の起業家の挑戦をサポートするため、起業後のビジネス拡大を含めたサポートを行っています。



2024年度
創業支援融資
実行件数
494件

アトツギに寄り添う事業承継支援

高度経済成長期から半世紀が経過し、事業承継に関する課題をお持ちの経営者様は少なくありません。

当金庫は、経営者・後継者・従業員、そしてそれぞれのご家族にとって最善の事業承継を実現するため、専門部署「事業アトツギ支援部」を中心としたサポートを行っています。



2024年度
事業承継支援
相談件数
623件

小さなデジタル化から“DX”まで

地域企業の業務の効率化や販路開拓等の課題解決を、専門部署「京信デジタルLab」がサポートします。本年度はお客様のより高度なニーズにお応えするため、専任担当者が企業に入り込んで伴走する「デジタル共創サポート」も開始。同サービスを含め149件の相談を受け付け、専門のパートナー企業とも連携しながら、デジタル化支援を行いました。



多様な働き方で、地域の“人材”を活かす

あらゆる業界で人手不足が課題となるなか、専門部署「京信人材バンク」を中心に、採用や複業人材活用の支援、セミナーによる情報提供等、多角的に“人材”に関する課題の解決をサポート。2024年度は113件の人材マッチングが実現しました。



5つのしあわせのために
Vパートナー
Create Five Values

ライフプランサポート

ライフプラン、お金の相談、NISA、iDeCo、住宅ローン、各種ローン

お金

くらし・あんしんサポート

家族の介護相談、相続等もしもの時の相談、ベビーシッター、家事代行

家族 しあわせ

メンタルヘルスケア

LINE 相談、オンライン相談

心

教育コンテンツ

専門家による教育動画、eラーニング、チームビルディング

仕事

身体

身体予防ケア

人間ドックをご紹介

2025年
3月末現在
ご契約社数
81社

2024年6月、お取引先企業様向けコンソーシアムプログラム「Vパートナー」サービスを開始しました。

ご契約企業の経営者や社員、そのご家族が様々なサービス・特典を受けられる、福利厚生プログラムです。

働く人お一人おひとりの「しあわせづくり」を、当金庫がサポートします。

導入事例 株式会社ボレロ様

「大企業のように福利厚生を充実させることが難しい」というお悩みをお持ちだった同社では、「Vパートナー」導入後、社員の皆様向けにNISAセミナーを開催したり、eラーニングを利用したりして活用されています。



ヘアサロンは若いスタッフも多いので、お金の知識を身に付けてもらえてとても良かったです！



代表者 園田様



◆ 中小企業診断士職員による経営計画策定支援

当金庫には、中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家である「中小企業診断士」の資格を保有する職員が、28名在籍しています。

それらの職員の専門性を活かしながら、地域の事業者様の経営改善をサポートするため、2024年8月より「早期経営改善計画策定支援」の取扱いを開始しました。

中小企業診断士職員と、経営改善の専門部署「経営サポート部」、そして店舗の営業担当が一丸となって、お客様の事業の課題解決に取り組んでいます。

本業支援事例のご紹介

当金庫の取組紹介サイト「ICHIOSHI-京信のいちおし」では、地域の事業者様の経営課題解決に取り組んだ事例を多数ご紹介しています。



● 宇治茶製造卸問屋サポートプロジェクト



#ビジネス
マッチング
#補助金

2人の営業担当者がバトンをつなぎながらお客様に寄り添った事例です。



● 抱っこ紐商品開発プロジェクト



#商品開発
#クラウド
ファンディング

抱っこ紐の商品開発を目指す事業者を、窓口担当の職員がサポートした事例です。



● スポーツバイク&コーヒーショップ創業サポート



#創業
#まちづくり

「課題解決型店舗」膳所支店の職員が、独立開業をサポートした事例です。



● 西陣織の伝統を守るアトツギ支援



#事業承継
#新事業展開

新事業展開を目指す伝統産業後継者の想いを実現した事業承継支援の事例です。



起業家を顕彰する

「第12回 京信・地域の起業家アワード」を開催

創立90周年の記念事業としてスタートした「京信・地域の起業家アワード」は2024年度で12回目を迎えました。地域経済の活性化や社会課題の解決のためにリスクをとってチャレンジする起業家を顕彰するこのアワード。今回最優秀賞を受賞された株式会社 FingerVisionの濃野 友紀様は、視触覚センサーを用いたロボットの実装事業をされています。AI・ロボット産業において特に高度な技術とされる人間の「手」の動きをロボットで再現する技術が、人手不足や技術継承等の社会課題の解決につながる事が期待されています。

当金庫は地域の起業家を応援し、地域経済の活性化や持続可能な発展に貢献してまいります。



金融の枠を超えて、地域の活力を創出します！

くらし・事業・地域の課題を解決する店舗モデル「課題解決型店舗」

「課題解決型店舗」は、従来の金融の枠を超えた新しい店舗モデルです。窓口営業時間を午前9時から12時までとして、午後からはくらしや事業、地域の課題解決に取り組んでいます。職員一人ひとりがコミュニティマネージャーとしてまちに出向き、地域の活力につながる活動によりいっそう取り組みます。

2024年6月に21店舗体制で始まった課題解決型店舗は、2025年に入って新たに27店舗を加え、現在48店舗の体制になりました。各店舗では、それぞれの地域特性に合わせた活動を自立的に行っています。

課題解決型店舗の取組が 「ニッキン賞」を受賞しました

ニッキン賞は、株式会社日本金融通信社の「ニッキン基金」が、金融界や社会の発展に広く貢献した行為を顕彰する賞です。

2024年度の本賞では、当金庫の課題解決型店舗の取組が選ばれました。各店舗ではこれまでに、空き家問題の解決や商店街の活性化、市バス混雑対策としてのスクールバス運行支援等に取り組んでおり、このような地域の課題解決に資する活動を、地域金融機関における先駆的な取組として評価いただきました。



課題解決型店舗の
一覧はこちらから

ページをみる

わたしたちの 働き方改革

●お客様サービス向上のために 「マイスター制度」による人材育成



社内で認定された高度な知識・スキルを持つ「マイスター」が、若手を「弟子」として育成。感性や知識を伝え、学びを組織全体へ展開する風土を醸成し、継続的なスキル向上を目指しています。

●コミュニケーションゆたかな企業文化が生む価値創造 社内SNS「TUNAG」の活用



「日本一コミュニケーションがゆたかな会社」の実現に向けて、社内SNSを活用しています。お客様の喜びの声につながったストーリーや業務改革の好事例を社内でも共有することで、お客様満足度向上、業務改革の推進、職員の成長促進による企業価値向上につながっています。

ソーシャル・グッドな地域社会を実現します！

地域金融機関である当金庫は、より良い社会の実現に向けて独自の取組を推進し、ソーシャル・グッドな地域づくりやその気運の醸成に取り組んでいます。

「ソーシャル企業認証制度 S認証」が6信金へ拡大

社会や環境に良い取組を行っている地域企業を可視化するために、当金庫を含む京滋の3信金と龍谷大学が連携して創設した「ソーシャル企業認証制度 S認証」には現在、大阪・兵庫・岡山の信用金庫も参画しています。幅広い地域に共感の輪が広がっており、認証企業も1,400社を超えています。



S認証を軸とした地域共創コミュニティを形成

S認証企業間の連携を深めるための交流イベント「ソーシャルナイト」を開催し、近隣エリアにおける横のつながりを深める取組を行っています。

さらに、地域の皆様や「京信ソーシャル・グッド預金」の預金者とS認証企業の接点創出を目的とした「SOCIAL GOOD DAY」を開催しています。このイベントでは、「みんなではじめる“未来にいいこと”」をコンセプトに、S認証企業によるマルシェやワークショップを通じて、地域におけるソーシャル・グッドな製品や事業への理解を促進しています。



SOCIAL GOOD DAY

こうした活動により、S認証企業同士や、S認証企業と地域の皆様とのコミュニティを形成し新たな事業機会の創出や地域課題の解決に取り組んでいます。

私たちはこのような取組を通じて、地域社会全体のソーシャルマインドの醸成を図り、企業の社会的価値創造を支援することで、地域経済の活性化に貢献することを目指しています。

今後も、S認証企業の皆様との連携を強化するとともに、持続可能な社会の実現に向けた活動を継続し、共感でつながるソーシャル・グッドな地域づくりに邁進してまいります。



ソーシャルナイト

「つながる」からうまれる共感の輪「循環フェス」を開催

地域金融機関としての社会的責任を果たすべく、資源の有効活用と循環型社会の実現に寄与するため、古着の回収・再循環のお祭り「循環フェス」を、毎年継続的に開催しています。

このイベントは、資源循環のムーブメントを創出し、持続可能な消費行動を促すことを目的としています。



S認証企業によるフリーマーケットやワークショップを通じて、「3R(リユース、リデュース、リサイクル)」について楽しみながら体験いただくことで、資源循環への意識の向上に取り組んでいます。

2024年11月に開催したイベントには、約13,000人の方が来場され、3トン超の衣服を回収、約2,000点の衣服が新たな持ち主の手に渡りました。



当金庫の支店等に衣服回収ボックスを設置しています。

スポーツを通じた地域貢献活動

●当金庫がスポンサーをつとめる女子プロ卓球チーム「京都カグヤライズ」の選手を招いたイベントを開催しました

地域に根ざしたスポーツチームのプロ選手を招いて、当金庫の各店舗ロビーを活用したイベントを開催しています。地域スポーツチームと地域の皆様との交流を深める取組を通じて、地域社会の活性化に貢献してまいります。



新しいイメージポスターを掲示しています。



●「京信プレゼンツ 京都キッズ(U-8)サッカーリーグ」を開催しています

未来を担う子どもたちの健やかな成長と地域社会の発展を支援するため、キッズスポーツの振興に積極的に取り組んでいます。

当金庫は2008年より京都キッズ(U-8)サッカーリーグを応援しており、2024年9月に、子どもたちが試合で使用するピブスや横断幕等を新たにデザインして贈呈しました。

子どもたちが自由に身体を動かし、スポーツを通じて協調性や目標達成力等を育める環境を提供することで、未来の社会を支える子どもたちの夢を応援しています。

大阪・関西万博にあわせ「EXPO酒場」を開催



「EXPO酒場」は、万博会場だけでなく、まち全体を「万博」にするというコンセプトのもと、新たなコミュニティ創出のために全国各地で開催されています。

当金庫では、2025年2月から10月にかけて当金庫本店等を会場として開催し、国内外の来場者との交流プログラムや文化イベント等を実施します。地域の歴史や魅力を発信するとともに、地域や国を越えた人と人の活発な交流を促進し、より豊かな文化体験の場を創出していきます。

共創施設QUESTIONの活動が信用金庫社会貢献賞「会長賞」を受賞しました



一般社団法人全国信用金庫協会が実施する「第27回信用金庫社会貢献賞」において、当金庫の「問いが集まる共創施設 QUESTION」の活動が高く評価され、「会長賞」を受賞しました。

今回の受賞は、2020年11月に旧河原町支店ビル建替えにあわせてオープンした共創施設「QUESTION」について、「複雑化する諸課題・問いに対して様々な人々が寄ってたかって、協力して解決するためのフラットな交流拠点を地域に提供する」という発想を評価いただきました。

今回の受賞を励みとして、これからも地域社会の様々な課題解決に向けた取組を推進してまいります。

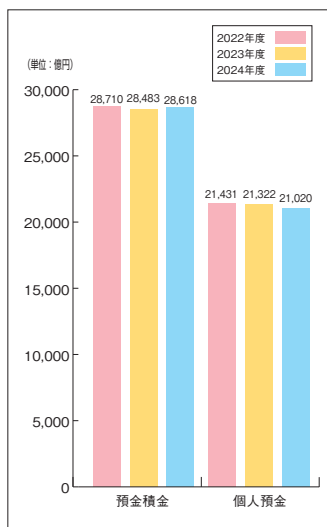
業績のご報告

預金・貸出金の状況

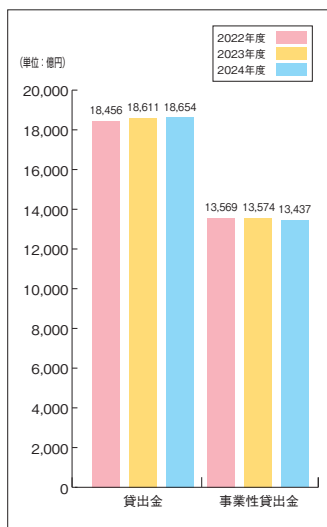
預金積金残高は、前年度より134億円増加し、2兆8,618億円となりました。

貸出金残高は、前年度より42億円増加し、1兆8,654億円となりました。

●預金積金・個人預金残高の推移



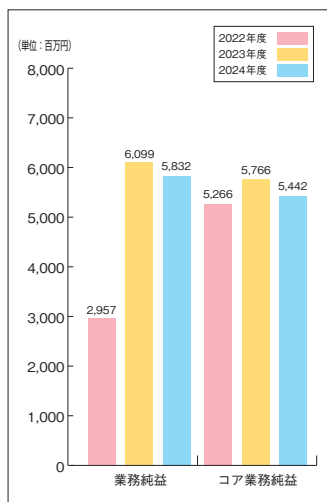
●貸出金・事業性貸出金残高の推移



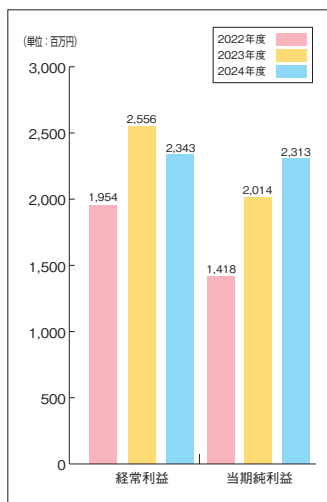
損益の状況

業務純益は、前年度より2億円減少し、58億円となりました。信用金庫の本来業務での収益力を表すコア業務純益は、前年度より3億円減少し、54億円となりました。経常利益は、前年度より2億円減少し、23億円となりました。当期純利益は、前年度より2億円増加し、23億円となりました。

●業務純益・コア業務純益の推移



●経常利益・当期純利益の推移



財務諸表

貸借対照表 (第103期 2025年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		金額	負債の部		金額
現金	金	26,980,723	預金積金	金	2,861,872,484
預け	金	476,778,310	当座預金	金	86,180,808
コール	ローン	55,673,280	普通預金	金	1,318,648,038
有価	証券	704,066,524	貯蓄預金	金	169,052,876
国債		189,577,906	通知預金	金	3,754,943
地方債		175,989,098	定期預金	金	1,236,801,471
社債		179,935,733	定期積金	金	22,199,491
株式		12,532,889	その他の預金	金	25,234,853
その他の証券		146,030,895	借用金	金	188,000,000
貸出金		1,865,408,740	借入金	金	188,000,000
割引手形		3,689,119	債券貸借取引受入担保金	金	41,609,797
手形貸付		37,806,357	外国為替	金	264,883
証書貸付		1,640,924,780	売渡外国為替	金	171,955
当座貸越		182,988,482	未払外国為替	金	92,927
外国為替		1,112,017	その他負債	金	6,584,483
外国他店預け		1,048,767	未決済為替借	金	892,098
取立外国為替		63,249	未払費用	金	1,835,438
その他資産		16,884,470	給付補填備金	金	2,828
未決済為替貸		556,453	未払法人税等	金	541,750
信金中金出資金		13,506,100	前受収益	金	774,629
前払費用		260,947	払戻未済金	金	57,393
未収収益		1,628,365	払戻未済持分	金	855
金融派生商品		17,427	職員預り金	金	1,466,580
その他の資産		915,177	金融派生商品	金	40,989
有形固定資産		48,345,214	資産除去債務	金	370,473
建物		11,867,493	その他の負債	金	601,446
土地		31,671,213	賞与引当金	金	1,387,299
建設仮勘定		371,952	退職給付引当金	金	11,730,026
その他の有形固定資産		4,434,553	役員退職慰労引当金	金	629,235
無形固定資産		3,159,838	睡眠預金等払戻損失引当金	金	17,001
ソフトウェア		2,164,528	偶発損失引当金	金	943,818
その他の無形固定資産		995,310	再評価に係る繰延税金負債	金	3,540,148
繰延税金資産		22,247,492	債務保証	金	1,517,070
債務保証見返		1,517,070	負債の部合計	金	3,118,096,247
貸倒引当金		△ 20,786,162			
(うち個別貸倒引当金)		△ 15,525,560			
資産の部合計		3,201,387,520			

純資産の部		金額
出資金	金	11,413,550
普通出資金	金	11,413,550
利益剰余金	金	102,170,056
利益準備金	金	13,408,230
その他利益剰余金	金	88,761,826
特別積立金	金	85,496,290
(うち新本店圧縮積立金)	金	706,578
(うち新店舗圧縮積立金)	金	284,712
当期末処分剰余金	金	3,265,535
会員勘定合計	金	113,583,607
その他有価証券評価差額金	金	△ 32,981,090
繰延ヘッジ損益	金	△ 1,963
土地再評価差額金	金	2,690,718
評価・換算差額等合計	金	△ 30,292,334
純資産の部合計	金	83,291,272
負債及び純資産の部合計	金	3,201,387,520

財務諸表

損益計算書

(第103期 2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	35,787,985	特別利益	640,294
資金運用収益	30,291,573	固定資産処分益	640,294
貸出金利息	22,475,563	特別損失	184,400
預け金利息	1,471,550	固定資産処分損	105,953
コールローン利息	208,697	減損損失	37,426
有価証券利息配当金	5,572,103	その他の特別損失	41,020
その他の受入利息	563,658	税引前当期純利益	2,799,664
役員取引等収益	3,694,959	法人税、住民税及び事業税	764,326
受入為替手数料	1,199,577	法人税等調整額	△ 278,606
その他の役員収益	2,495,382	法人税等合計	485,720
その他業務収益	1,458,982	当期純利益	2,313,944
外国為替売買益	83,629	繰越金(当期首残高)	864,417
商品有価証券売買益	70	土地再評価差額金取崩額	87,174
国債等債券売却益	527,701	当期末処分剰余金	3,265,535
その他の業務収益	847,581		
その他経常収益	342,469		
償却債権取立益	78,336		
株式等売却益	239,168		
その他の経常収益	24,964		
経常費用	33,444,214		
資金調達費用	2,724,266		
預金利息	2,657,127		
給付補填備金繰入額	2,194		
借入金利息	11,418		
債券貸借取引支払利息	27,380		
その他の支払利息	26,145		
役員取引等費用	2,662,369		
支払為替手数料	151,338		
その他の役員費用	2,511,031		
その他業務費用	465,617		
国債等債券売却損	228,445		
金融派生商品費用	1,910		
その他の業務費用	235,261		
経費	24,419,962		
人件費	14,685,577		
物件費	8,681,049		
税	1,053,336		
その他経常費用	3,171,998		
貸倒引当金繰入額	2,476,540		
貸出金償却	30,851		
株式等売却損	106,871		
株式等償却	55,232		
その他の経常費用	502,502		
経常利益	2,343,770		

剰余金処分計算書

(第103期 2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
当期末処分剰余金	3,265,535
積立金取崩額	67,589
新店店圧縮積立金取崩額	64,553
新店舗圧縮積立金取崩額	3,035
剰余金処分額	2,428,271
普通出資に対する配当金 (配当率)	228,271 (年2%)
特別積立金	2,200,000
繰越金(当期末残高)	904,853

会計監査

当金庫の財務諸表は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、有限責任あずさ監査法人の監査を受けております。

単体自己資本比率(国内基準)

(単位:億円)

項目	2023年度	2024年度	増減
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	1,167	1,186	19
コア資本に係る調整項目の額 (B)	20	22	2
自己資本の額(A)-(B) (C)	1,146	1,163	16
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	14,008	13,848	△ 159
単体自己資本比率 (C/D)	8.18%	8.40%	0.22%

※自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

不良債権の状況

(信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権)

(単位:億円)

	2023年度	2024年度	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	151	163	11
危険債権	748	795	46
要管理債権	49	42	△ 6
三月以上延滞債権	2	-	△ 2
貸出条件緩和債権	46	42	△ 3
不良債権計	949	1,001	51
正常債権	17,695	17,684	△ 11
合計	18,645	18,685	40
不良債権比率	5.09%	5.35%	0.26%

ブランドネーム「コミュニティ・バンク京信」

当金庫は2023年9月の創立100周年を機に、ブランドネーム「コミュニティ・バンク京信」を制定しました。そこには、1971年に「コミュニティ・バンク」を宣言して以来、地域社会を豊かにするためにやってきた活動と理念を次代に継承し、さらなる進化を続けるという想いを込めています。

私たちは「コミュニティ・バンク京信」として、これからも地域の皆様のくらしの課題、事業の課題、そして地域社会の課題解決に取り組んでまいります。



2025年3月に新築オープンした城陽支店

わたしたちの

この1年のできごと!

春	4月 4日	「大阪市京信クラブ」が発足		
	8日	「円町支店」新築リニューアルオープン		
	26日	店舗外ATMコーナー「近鉄百貨店草津店出張所」を新設		
	6月 3日	「課題解決型店舗」の導入		
	13日	「信用金庫の日」地域貢献活動 「京都カグヤライズのプロ選手と卓球マッチイベント」を開催		
	21日	第27回信用金庫社会貢献賞「会長賞」を受賞		
夏	7月 8日	「吉祥院支店」新築リニューアルオープン		
	8月22日	京都市の住替え奨励金制度「京都安心すまい応援金」と連携を開始		
	9月18日	「和歌山県産梅酒商談会」を開催		
	21日	「NICEなインドFES!」を開催		
秋	10月 2日	大阪産業創造館×京都信用金庫 「ものづくりパートナーマッチング商談会」を開催		
	2日	大阪府下16店舗を「大阪府認知症サポート事業所」に登録		
	17日	「ATOTSUGI JOSHikai」を開催		
	21日	日本政策金融公庫×京都信用金庫 「つながりをつくる 創業者のためのフォローアップセミナー」を開催		
	23日	「京都カグヤライズ卓球マッチ in 山科支店」を開催		
	11月11日	「京信デジタル相談会2024」を開催		
	12日	当金庫公式Webサイトを全面リニューアル		
	14日	「第11回バイヤーマッチング商談会」を開催		
	12月 5日	「FOOD COLLABO LABO 2024 IN KYOTO」を開催		
	9日	「御室支店」新築リニューアルオープン		
冬	1月12日	「第32回京信ニューイヤーコンサート」を開催		
	28日	西村証券株式会社と「新春特別株式講演会」を共同開催		
	2月15日	6信用金庫コラボ企画「SOCIAL GOOD MEET UP」を開催		
	21日	「第12回 京信・地域の起業家アワード 優秀賞受賞者 プレゼンテーション」を開催		
	22日	「KIRI ² KAMEOKA」を開催		
	25日	万博Efforts「伏見の魅力再発見! ～万博を通じて描く未来のまち～」を開催		
	3月 3日	「万博Efforts Pre万博@KYOTO - 未来を共創する万博night - 」を開催		
	10日	京都府警察本部との詐欺被害防止に関する連携協定を締結		
	10日	「健康経営優良法人2025 大規模法人部門」に認定		
	11日	課題解決型店舗の先駆的な取組として「2024年度ニッキン賞」を受賞		
15日	「SOCIAL GOOD DAY 2025」を開催			
17日	「城陽支店」新築リニューアルオープン			

京都信用金庫の概要 (2025年3月31日現在)

本店所在地	京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地		
	TEL(075)211-2111		
設立年月日	1923年(大正12年)9月27日		
総資産額	3兆2,013億円	会員数	127,299人
預金積金	2兆8,618億円	常勤役員数	1,560人
貸出金	1兆8,654億円	店舗数	95店舗
出資金	114億円	店舗外ATMコーナー数	102カ所



公式Webサイト



ページをみる

京信のいちおし
ICHIOSHI
京信の取組紹介



ページをみる



@kyotoshinkinbank



ページをみる



@kyotoshinkinbank



ページをみる